

(2) 集団解決の計画の視点

- ①何を使うか (ホワイトボード, 画用紙, 黒板, 実物投影機)
- ②どう示すか (一斉, 順番)
- ③何を説明させるか
- ④どうやって多くの児童に表現の機会を与えるか
- ⑤考えをどんな発問で関連付けさせるか
- ⑥どうつまずきを生かすか
- ⑦どうまとめにつなげるか
- ⑧どこでペア学習を取り入れるか

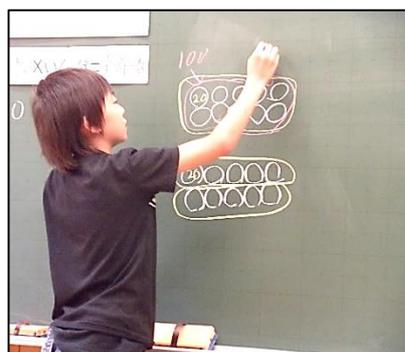
【視点の具体】

①何を使うか

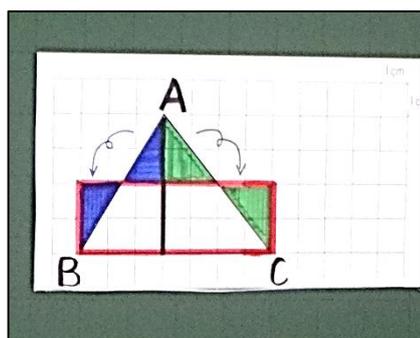
使う物	メリット	デメリット
ホワイトボード	<ul style="list-style-type: none"> ・消しながら書ける (安心感) ・動かせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き終わるまで他の児童を待たせることになる
画用紙	<ul style="list-style-type: none"> ・残しておける ・様々な色を使える ・動かせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き終わるまで他の児童を待たせることになる ・間違えても消せない
黒板	<ul style="list-style-type: none"> ・書く過程が見られる ・後からチョークで書き加えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・動かせない (計画性が必要) ・書く内容が多いと時間がかかる
教師が用意した図	<ul style="list-style-type: none"> ・書く時間を短縮できる ・整理され, 見やすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童独自の方法を表現しにくい
実物投影機	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートをそのまま見せられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板上に残せない



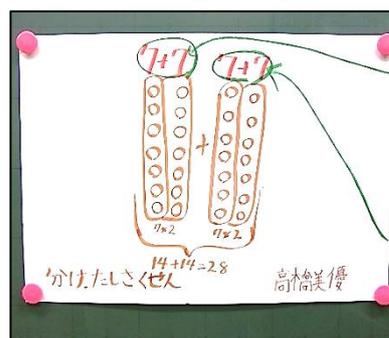
ホワイトボードに書かせる



黒板に書かせる



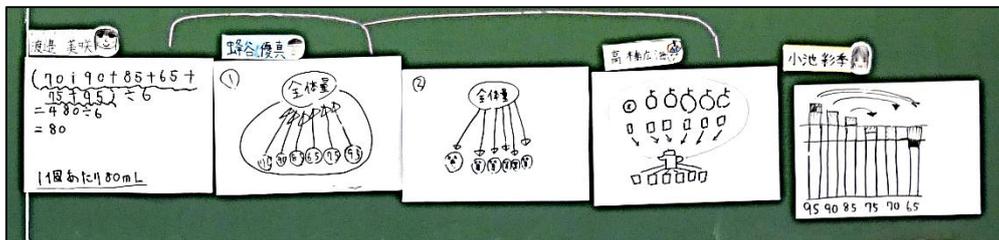
教師が用意した図に書かせる



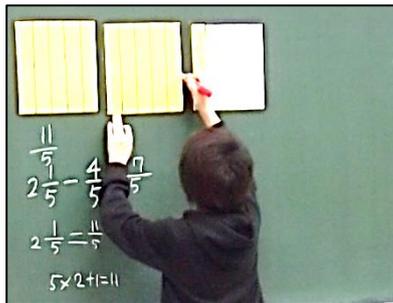
画用紙に書かせる

② どう示すか

示し方	メリット	デメリット
一斉に示す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達がどう考えたのか、読み取る時間を確保できる ・ 複数の考えの中から自分が読み取れそうなものを見付けられる ・ すぐに比較検討の活動を行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の考えに目が行き、話合いが焦点化しにくくなる
順番に示す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見る側を、一つの説明に集中させられる ・ 段階的に、読み取り方、説明の仕方に慣れさせていける ・ つまずきを生かしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じような説明の繰り返しになると、学習が単調になる



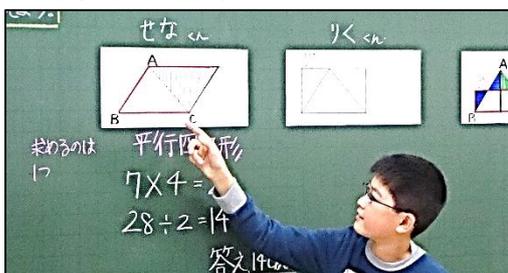
一斉に示す



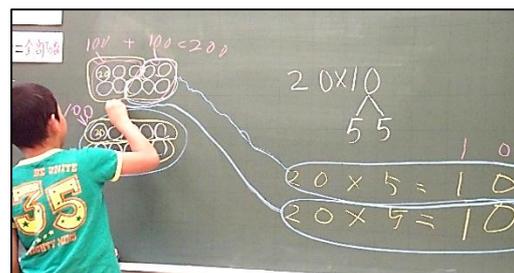
順番に示す

③ 何を説明させるか

- ・ 自分の考えの説明
- ・ 友達の考えを読み取っての説明
- ・ それぞれの考えの共通点、相違点、よさ、工夫など
- ・ よりよい方法はどれか
- ・ つまずきの修正の仕方
- ・ どうしてつまずいたのか



友達の考えを読み取っての説明



図と式の共通点についての説明

④ どうやって多くの児童に表現の機会を与えるか

- ・発表者と説明者は別にする
- ・理解できたか確認しながら，他の児童にも同じ説明をさせる
- ・途中まで説明させて，続きを他の児童に説明させる
- ・不完全な図や式を取り上げて，続きを他の児童に考えさせ，説明させる
- ・ペアで説明し合う，相談する

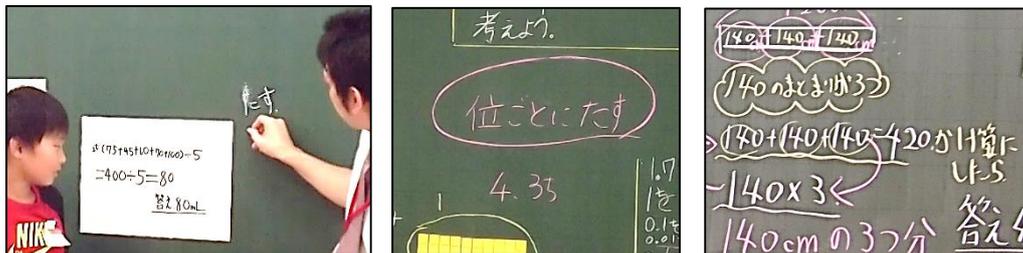
⑤ 考えをどんな発問で関連付けさせるか

- ・この式は，図でいうとどこ？
- ・この言葉は，式でいうとどこ？
- ・この式を，図を使って説明してごらん
- ・この式を，言葉を使って説明してごらん
- ・図に言葉を付け足してごらん

⑥ どうつまずきを生かすか（「(3) つまずきの生かし方の視点」参照）

⑦ どうまとめにつなげるか

- ・ねらいに迫る考えを引き出す（発問）
- ・説明し合う中で出てきたキーワードを板書しておく

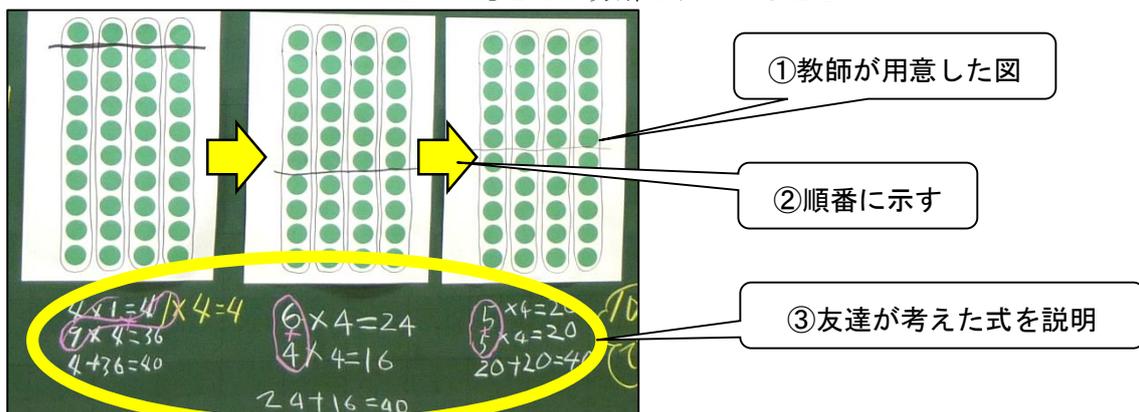


吹き出しなどを用いて，キーワードを板書しておく。

⑧ どこでペア学習を取り入れるか（視点2手立て1「ペア学習の活用」参照）

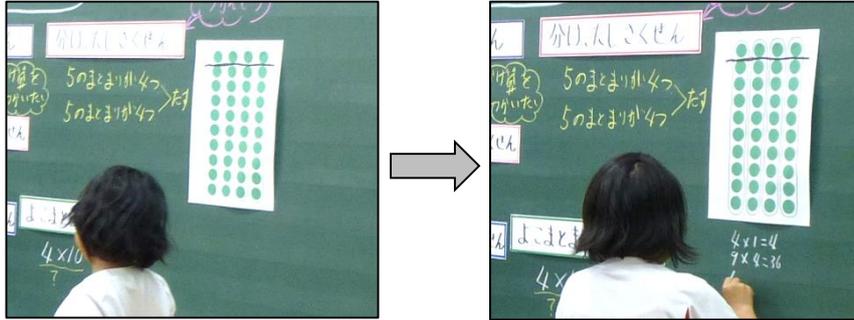
【3年「九九を見なおそう」の実践例】

- ①何をを使うか・・・教師が用意した図
- ②どう示すか・・・順番に示す
- ③何を説明させるか・・・友達がどういう式にして答えを求めたか
・・・どの式も10が分解されていること



④ どうやって多くの児童に表現の機会を与えるか

- ・・・発表者と説明者は別にする
- ・・・理解できたか確認しながら，他の児童にも同じ説明をさせる



④初めの児童にどのように分けて考えたかを発表させ，次の児童に友達がどのような式で答えを求めたかを説明させた。

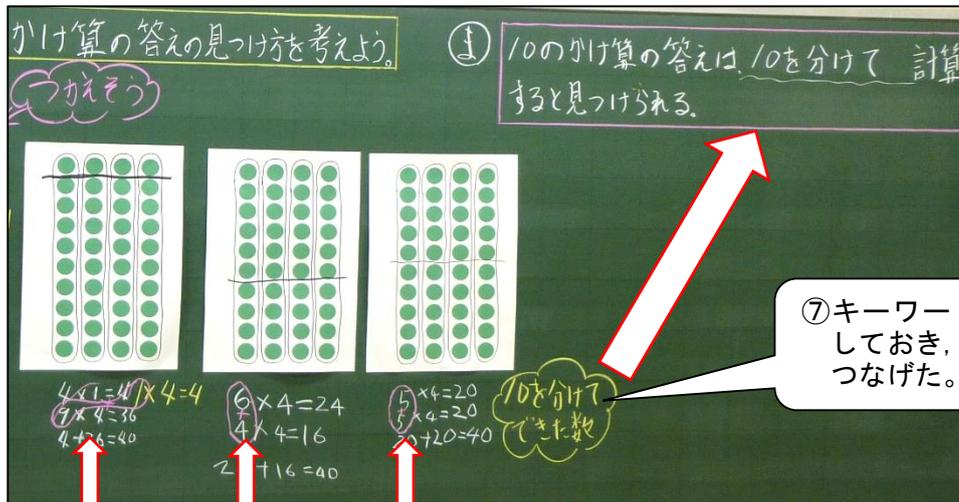
⑤考えをどんな発問で関連付けさせるか

- ・・・「10はどこに隠れているか」という発問をし，式の共通点に気付かせる

⑥ どうつまずきを生かすか・・・立式に関するつまずきを取り上げ，全体で確認する

⑦ どうまとめにつなげるか

- ・・・どの式も，かけられる数は10を分解してできた数であることに気付かせ，「10を分けてできた数」というキーワードを板書しておく



⑦ キーワードを板書しておき，まとめにつなげた。

⑤ 発問によって，どの式にも10を分解してできた数が隠れていることに気付かせた。